

## 三和鉄構建設（広島）

# ハイブリッド工法を提供 コスト削減や工期短縮

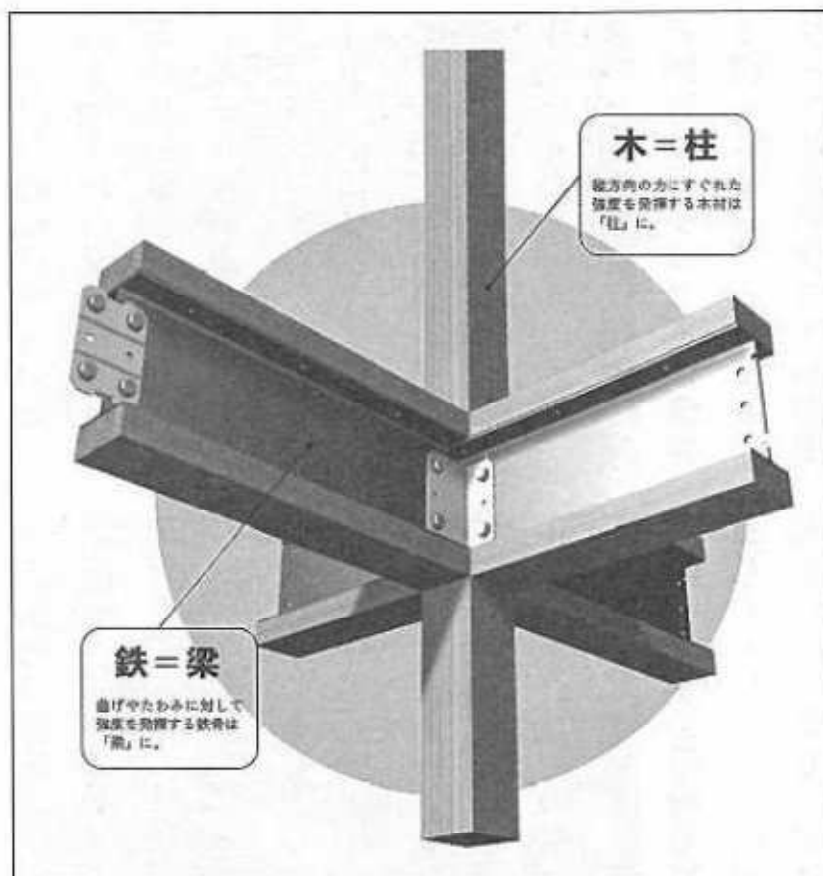
広島県のHグレードファブ、三和鉄構建設（本社・尾道市、中島裕一郎社長）が提供する鉄骨造と木造のハイブリッド工法「さんわテクノビルド」を採用した建築物の普及が進んでいる。

縦方向の力がかかる柱には木材、曲げやたわみに対して強度が求められる梁には鉄骨を活用することで建物の強度を確保する。主な特徴は①建物重量が軽く基礎工事の負担を抑えることで、既存のS造と比較して約20～30%コスト削減（同社試算）が図れ、木造扱いのため減価償却期間が短い②構造がシンプルで

施工性に優れ、部材の調達も早い③既存のS造より最短なら約3分の2の工期で施工が可能④最大約12mの無柱空間や高天井の設計ができる⑤熱伝導が低く外気の影響を受けにくい⑥省エネが図れる⑦建築基準法の1.5倍の強度で震度7クラスの耐震等級3に対応——など。

これまで、学生寮「学校法人尾道学園 闘獣館」とうゆうかん」や障害者福祉施設「社会福祉法人 尾道さつき会 ホームみつ

ぎ」などの施工実績がある。に必要とされる建物や環境を持続的に実現することを「業」を理念に掲げ、「地域 目指す」としている。



鉄骨造と木造のハイブリッド工法「さんわテクノビルド」 構造概念図